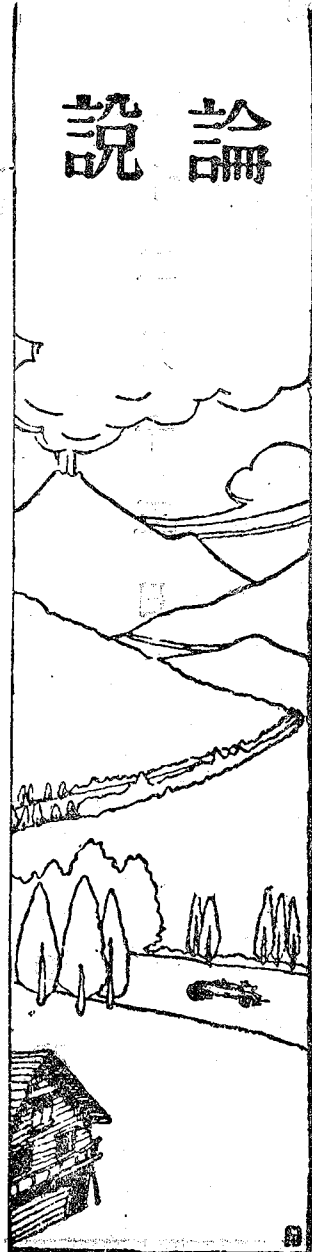


# 論 說

## 道路の維持に就いて

道路改良會理事

比 田 孝 一



近來道路改良の必要が漸く認められ全國各地方に於て各其の財力に應じて大小夫れ々の改良が企てられ従來に比して道路の面目が日に月に著しく改まり地方の開発物資需給の圓滑を計る上に於て尠なからざる貢獻をなしつゝあることは洵に喜ばしきことである併しながら折角改良せられた道路も其の維持修繕の點に於て不充分なる爲めに所期の効果を充分に發揮することを得ない

狀況に在るのは遺憾の至りである。道路法の規定に依れば道路の維持修繕は道路の管理者たる道廳長官、府縣知事、市町村長等が其の統轄する道府縣又は市町村の費用を以て之を執行する義務を負ふて居るのであつて、各管理者は自分の管理して居る道路の維持修繕に力を注ぎ、現に道府縣共、國道府縣道、地方費道等に對しては各路線毎に交通の繁閑に應じて相當の區域を定め、之に常備の工夫を配置して其の維持と小破修繕とに當らしめて居る。市町村に於ても相當の方法を立て其の維持修繕に怠らないのであるが、道府縣、市町村の財力には自ら限りがあるので、國道府縣道、地方費道等に對する工夫一人の負擔區域が長距離に失して、到底一人の力を以てしては之が維持修繕を完全にすることが困難なりと認むるものが尠くない。況んや町村道の如きに至りては全く常備工夫等の維持修繕の機關を持たないものが尠くない。或は殆ど總て然りと言ふも過言でない現時の狀況である。

## 二

元來新規の道路改良工事は比較的派手な仕事であつて、今迄車の通らなかつた所に自動車が行き來ると言ふやうに其の効果は衆人の目を惹き、竣功する時は開通式とか竣功式とか言ふやうな御祭騒ぎも盛に行はれ、工事に従事したのも其の勞に對して感謝の意を表せられると言ふやうな場合もある位で、地方に於て歓迎するは勿論、其の工事に従事するものも興味を以て其の完成に努力する傾向があるのであるが、之に反して維持修繕となると誠に人の目に附かない地味な仕事であつて、幾ら骨を折つても賞めてくれる人もなく、其の完全に維持せられることを當然事と考へられるやう

な工合であるから、之に従事するものは實に張合がなく従つて兎角等閑に附せられ易い傾向がある。地方の人士にしても新規改良工事を起す必要を叫ぶ人は多々あるが、一旦立派な道路が出来上れば其の完全なる道路が如何に維持されて行くかと言ふことに就て餘り願ないのみならず其の甚だしきに至りては、新規工事の爲に莫大なる工事豫算を計上して怪しまないのみか却つて之を力説する人が維持修繕の費用に對しては經費節約の好名目の下に當局者が必要と認めて計上した費目に對してまで大斧鉞を加へ、財政緊縮の實を擧げた如くに言ふ人があるに至つては實に痛嘆の至りに耐へないのである。

此の如く道路の維持は兎角閑却され勝であつて、誰れしも餘り金を投ずることを忌避するのである併しながら改良と維持とは離るゝことの出来ない密接の關係を有し、もし維持することなくむば折角改良せられた道路の價値も數年ならずして消滅するのみか、或は數年ならずして再び改造の必要を見るやうな悲運に陥るのである。

之は大分昔のことであるが、或る縣に於て極端な例がある。道路を改修して三間幅の立派な道路を造つたが、工事竣功後の兩三年に於て最も修繕費を要する時に當り、之に對する費用を縣會が決議しない爲めに、切取個所の法面が崩れ落ちても崩土を取除く可き費用がない、幸に片側谷に沿つた所は崩れ土を谷へ掻き落せば可いが、夫れとて全部綺麗に取除くことは出来ず、唯僅かに其の一部を取除き一間半乃至二間半位に通路を開いたに過ぎない、然して峠の切取り個所に至つては崩土を取除くことは容易でないから、其の儘掻き均して置くと言ふ有様であつた爲に、最初三間幅に勾配も相當緩

に出來たものが漸く一間半位しかない所や又は五分の一位の急勾配の所が出來て、遂に、後年殆ど再  
改修に等しき工事を施行するの餘儀なきに至つたと言ふことがある。

道路の維持修繕は斯様に大切なものであるが、其の維持と言ふことは要するに小破損の箇所を成  
る可く速かに修繕すると言ふことにあるのである。之に依つて道路の壽命を延長することが出来る  
のである故に小破損を放置するときは忽ち大破となり巨額の修繕費を投ぜざるべからざるに至る  
を以て之を完全にすることは結局道路費の節約となる斗りでなく、交通を容易ならしめ運搬の費用  
を低廉ならしめる等其の利益は實に多大である。

### 三

現今我國に於ける地方道路の大部分は砂利敷道であるが、其の内の幹線たる國道、府縣道、地方費道  
に在りても其の大部分は交通さまで劇甚なりとは認め難いのであるから、現時の路面を完全に維持  
する様に努力するときは交通上敢て左程の不便を感ずることはないと言ふ、尤も重量貨物を積載  
した荷車や自動車の頻繁に交通する箇所は、單に現在の路面を以てしては到底充分交通の目的を達  
することは不可能であつて、斯様の箇所に對しては相當鞏固な舗裝を施すことは勿論必要である。然  
らざる其の他の箇所も改良舗裝を爲すことは固より望ましき事であるが、今日の財政狀態を以てし  
ては之を遠き將來に待つより外ないのである。此の如く何時までも的なき遠き將來を夢みるよりは  
現在道路を成るべく完全に維持することに努めるのが遙に有効有利である。加之巨額の工費を投じ

て路面を鋪裝すれば能事終ると爲すが如きは間違であつて如何なる種類の鋪裝にしても完全なる維持を爲すことは緊要なる問題である。現に東京市の道路の内で立派に鋪裝した處でも路面に波を打ち又は表面に凸凹が出来て自動車を馳らせるに當つて甚しく不快を感じしめ又は交通に支障を來して居る所も少くない。是等は或は施工上に缺點もあつたのであらうが維持の完全ならざること其の最も大なる原因であつて如何に丈夫に鋪裝をしても維持を忽諸に附する時は其の性能を充分に發揮することが出来ないのである。

維持の最も有効なる方法としては損傷を修理すると言ふことよりも寧ろ損傷を未然に防ぐと言ふことにある。地方を旅行すると道路の法面が塵埃の棄場となり或は路面の一部に稻や麥の粃殻を捨て又は兩側の溝が塵埃で埋まり又は自分の宅地よりも道路面が少し高い場合には自分の所有地内の通路に當る部分を盛り上ぐる代りに道路面の一部を下げ凹まして出入に便し其の他の道路の全幅又は一部を農作物の乾燥場商品の置場又は荷造場に代用し居ることを往々にして見るのである。其の爲めに道路の有効幅員は減ぜられ交通に不便を來すのみならず道路其のものは是が原因となつて損傷せらるるのである。此等は必竟世人が道路に對して充分理解を有しない結果である。道路は萬人が之を利用する爲めのものであつてお互の生活を改善するに必要な機關である。其の機能が充分に働くと否とに依つてお互の利害に重大な關係がある。若し一部の人が勝手に使用又は悪用する時は他の萬人が迷惑を蒙り延ひては地方の繁榮にも影響を及ぼし懸ては其の人自身の不利益となると言ふことを充分に理解せざるに基因するものなるを以て之を理解せしむることに努力する

必要がある、此の如きことよりして現在の不完全な道路も或程度迄は其の損傷を未然に防ぐことを得、従つて一般交通に利便を與ふることゝ爲るのである。

#### 四

次に一般世間の人が此の道路は大分毀損されたと氣附く時には、我々から見れば既に改良の差迫つた時で斯様にならぬ以前に相當修繕する必要があるのである、其の修繕たるや道路管理者の當然の責務ではあるが完全に小破損の内に修繕を行はんとするには國道府縣道、地方費道等に在りては常備工夫の數を増し其の擔當區域を短縮する必要がある、市町村道に對しても同様常備工夫を配備するか又は他に適當の機關を設けて常時修繕を施すことを必要とす、是れが爲には恐らく現在の道路修繕費の二三倍若くは數倍を要することゝなるが、其の費用は公共團體が負擔せねばならぬ、然るに今日に於ては道府縣以下の公共團體の負擔が重り動もすれば道路費の如きは削減を加えられんとする今日であつて、到底是等費用の増額は行はれ難いのである、併しながら前述した通り之を小破の内に修繕すれば極めて容易であるに拘らず其の儘放置すれば忽ち大破となり、其の修繕費は巨額に上るのみならず一般交通にも非常に不便を來すことゝ爲るが故に捨て置く可きことでない、然らば如何にせば可なりやと言はば是は偏に沿道居住者の努力に俟つ外ないと思ふのである。

道路法の規定に依ると道路の維持修繕は管理者たる道廳長官、府縣知事、市町村長の責務であるが今日の財政狀態に於ては到底完全に路面を維持することは經費の上から困難である、爲に之を地方

人士の道路愛護心に訴へ其の完全を圖る目的を以て近頃各地方に種々の會を作り又は規程を設けて地方人士の自覺を促し道路愛護心の普及を謀つて其の維持修繕を完全ならしめんと努める傾向が段々盛んになるのは誠に喜ぶべき現象にして之が爲に不完全な我國道路も交通上に貢獻するであらうと信するのである是等の會合に依つて道路の凹所を完全に修繕することを得たならば幸であるが能く地方で見ることであるが溝浚ひをして出た土や路肩の雜草を取る場合に雜草の根の混合した土を用ふるものがあるが此の如きは甚だ宜敷ないのである其の外降雨の時に方り排水の宜しくない個所があれば之が排除の方法を講ずるとか路側の排水溝の埋もれた所を浚渫するとか其他路面の掃除障礙物の除却等極めて簡單な仕事ではあるが此等の事は沿道居住者が常に注意して怠ることなければ道路は完全に維持せられ従つて道路の維持費は著しく輕減せられない迄も道路は今日の狀態に比して遙かに完全に近いものとなり其の効用を充分に發揮することを得て天下萬人の利益となり延いては地方の繁榮を來すこととなるのであるから切に沿道居住者の自覺を促して已まない。

◇

×

◇

×